

エボニック、シリカ・シランの戦略的合併により 新ビジネスライン「スマートエフェクト」を発足

2025年1月27日

- ・ 2つのビジネスラインを合併することで、多様な顧客ニーズに対応するソリューションを強化
- ・ 新ビジネスライン発足による業務の合理化と効率化
- ・ 主要市場におけるサステナビリティと循環性を強化

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン 以下「エボニック」)は、2025年1月1日付で、シリカとシランの2つのビジネスラインの戦略的合併を行い、「スマートエフェクト(Smart Effects)」を発足させました。本組織は、全世界で3,500人の従業員を擁し、新たな社内体制において「アドバンスド・テクノロジー(Advanced Technologies)」セグメントに属することになります。この合併により、両ビジネスラインの専門知識を活用し、お客様と地球環境のどちらにも利益をもたらす革新的なソリューションを提供します。

スマートマテリアルズ部門の責任者であるローレン・ケルセン(Lauren Kjeldsen)は、「この新しいビジネスラインの発足は、当社のシランおよび湿式・フュームドシリカに関する補完的な技術プラットフォームの資金調達力の強化に向けた戦略的ステップと位置付けています。当社の分子シラン化学とシリカ粒子設計に関する専門知識を組み合わせることで、カスタマイズされたポートフォリオアプローチにより、高付加価値で差別化されたソリューションをお客様に提供することができます」と述べています。

スマートエフェクトビジネスラインの責任者を務めるエマニュエル・アウアー(Emmanuel Auer)は、「化学とは、適切な配合や組み合わせをおこなうことです。今回の合併は、お客様との関係性を強化するだけでなく、主要市場におけるサステナビリティの推進にもつながります」と述べています。

スマートエフェクトは、自動車・タイヤ産業、エレクトロニクス、消費者の健康と栄養、建築物の保護といった主要市場をターゲットとします。タイヤ産業では、シリカとシランの組み合わせはすでに成功を収めており、特に燃費効率と安全性を高めるグリーンタイヤの製造に貢献しています。このような統合アプローチは、シリカとシランの併用、技術プロセス、資産ネットワークの継続的な進展に貢献します。

エレクトロニクス分野では、リチウムイオン電池、半導体、ディスプレイやその他の部品に不可欠な高純度シリカ、金属酸化物、シランを供給し、業界におけるグリーントランスフォーメーションをサポートします。

エボニックは、ダイレクト・エア・キャプチャー(DAC)技術向けの新しい吸着剤などに代表されるイノベーションの先駆者でもあります。これは、アミノシランで表面改質を施したシリカキャリアを使用して大気からCO₂を効果的に除去するシステムで、スマートで持続可能なソリューションに対するエボニックの取り組みを示しています。

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

これらの取り組みは、エボニックのイノベーションとサステナビリティに対するコミットメントを明確に示しています。スマートエフェクトは、各国の営業チームやテクノロジーセンターと連携して、100カ国以上のお客様をサポートします。6大陸で展開する独自の資産ネットワークにより、信頼性の高い供給と卓越した価値を確実にお届けします。

アウアー(Emmanuel Auer)は、「スマートエフェクトを発足することで、当社は産業界におけるさらなる飛躍を目指します。私たちの目標は、循環型ソリューションと持続可能な効果により推進される、分子や粒子をベースとした革新的で補完的な技術を通じて、お客様に価値を提供することです」と結んでいます。

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100カ国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2023年度は、153億ユーロの売上、16.6億ユーロの営業利益(調整後EBITDA)を計上しました。革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、32,000人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2025年1月22日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)